

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和04年06月24日(金)

事務事業		スポーツ・レクリエーション団体活動支援事業		担当課	生涯学習スポーツ振興課	担当係	生涯スポーツ係	管理番号	6157	
総合計画	大項目	2	次代を担う人と文化を育むまち		事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務				
	中項目	2	誰もが生きがいをもち学ぶことのできるまちづくり		根拠法令 個別計画等	スポーツ基本法・深谷市補助金等の交付に関する規則				
	小項目	3	スポーツ・レクリエーションの推進							
	主要プロジェクト	0	(未使用)							
事業概要		本事業は、市民のスポーツ・レクリエーション活動の推進を図るため、活動団体が実施する市民大会・各種市民教室等の運営支援を（公財）深谷地域振興財団へ委託することにより行う。								
目的 ※何のために		市民のスポーツ・レクリエーション活動の推進を図る。								
対象 ※誰・何を対象に		市内スポーツ・レクリエーション活動団体								
手段 ※どのように		市民大会・教室の開催及びその他活動に対する支援（委託）を行う。								
成果 ※何を求めるか		各団体の競技力の向上、組織力の強化並びに地域におけるスポーツ・レクリエーション活動の活性化を目指す。								
執行体制		<input type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他（ ）								
事務事業を構成する 予算事業		区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額（円）
		一般会計	10	教育費	6	保健体育費	1	保健体育総務費	スポーツ・レクリエーション団体活動支援事業	5,600,000
本事業の 主な業務		・スポーツ事故防止の啓発							・	
		・市民大会等開催支援							・	
		・							・	
		・							・	
		・							・	
		・							・	

2. 事業費（投入コスト）

単位：円

区分		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
年度別計画		・市民大会、教室等開催支援	・市民大会、教室等開催支援	・市民大会、教室等開催支援	市民大会、教室等開催支援	市民大会、教室等開催支援	市民大会、教室等開催支援
事業費	予算（現額）	5,600,000	5,600,000	5,600,000	5,600,000	5,600,000	5,600,000
	決算額	5,600,000	5,600,000	5,600,000	5,600,000	5,600,000	0
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		他特定財源	0	0	0	0	0
		一般財源	5,600,000	5,600,000	5,600,000	5,600,000	5,600,000
人件費	従事職員数（人）	0.70	0.70	0.65	0.60	0.57	0.60
	人件費相当試算※	5,445,300	5,447,400	5,109,650	4,881,600	4,424,292	4,878,809
総事業費試算		11,045,300	11,047,400	10,709,650	10,481,600	10,024,292	10,478,809

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		単位	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
	目標値	実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
実績値の算出式									
活動指標 1	スポーツ・レクリエーション団体数	目標値	団体	3	3	3	3	3	3
		実績値		3	3	3	3	3	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所		体育協会・レクリエーション協会・スポーツ少年団の3団体/補助金交付関係書類による						
	実績値の算出式								
成果指標 1	3団体の登録会員数	目標値	人	14400	17000	17000	17000	17000	17000
		実績値		16550	15818	15969	15363	15524	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所		前年度実績による / 報告書による						
	実績値の算出式								
成果指標 2	市民大会等開催回数	目標値	回	36	36	36	36	36	36
		実績値		34	42	40	20	27	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所		前年度実績による / 報告書による						
	実績値の算出式								
成果指標 3	教室等開催回数	目標値	回	30	35	35	35	35	35
		実績値		32	26	37	3	17	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所		前年度実績による / 報告書による						
	実績値の算出式								
成果指標 4	市民大会等参加者数	目標値	人	0	18000	18000	18000	18000	18000
		実績値		17263	20558	13455	4038	8663	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所		前年度実績による / 報告書による						
	実績値の算出式								
成果指標 5	教室等参加者数	目標値	人	0	1900	1900	1900	1900	1900
		実績値		1847	1864	1940	0	485	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所		前年度実績による / 報告書による						
	実績値の算出式								

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。  
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。  
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に適う成果がでているかを評価します。  
(評価基準) (A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない)

(1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	体育協会、レクリエーション協会、スポーツ少年団の3団体が健全に活動ができています。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	B	新型コロナウイルス感染症拡大予防の観点から教室や大会を中止した団体があり、目標を達成することはできなかった。引き続き、教室や大会開催については、感染症予防策を講じながら開催することを促していきたい。
			評価者 生涯スポーツ係長 高野 学

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。  
(評価基準) (A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない)

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	各団体が開催する大会や教室の受付窓口などの運営を支援するために委託することにより効率化ができる。
			評価者 生涯スポーツ係長 高野 学

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和2年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	
達成状況及び その効果	

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	スポーツ・レクリエーション団体活動支援事業	担当課	生涯学習スポーツ振興課	担当係	生涯スポーツ係	管理番号	6157
<div><div><div><input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input checked="" type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input type="checkbox"/> ③見直して継続</div><div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div><div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div></div>		<p>評価の内容説明</p> <p>各団体は引き続き自立して活動ができていることに対して評価するとともに、スポーツ・レクリエーション活動の根幹となる3団体や加盟団体の活動に引き続き協力していく必要がある。</p>					
上記を実施するための具体的な取組内容は？		評価者	生涯学習スポーツ振興課長 荻塚 洋明				

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和4年度に実施する 改善・改革案 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	
令和5年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	

8. 評価指標グラフ

